

保健師ワーキンググループにおける検討事項

※ 将来を担う保健師に求められる能力として、以下の能力を強化することを前提として検討する。

- ・ 対象者の理解をさらに深めることができるよう以下の能力を強化する
 - a. 幅広い視野で対象者や集団のニーズを捉えるためのコミュニケーション能力
 - b. 個別の状況も踏まえ、対象集団の顕在的・潜在的問題を把握する能力
 - c. 対象集団の生活や健康等に関する情報を多角的・継続的に捉えて分析し、施策化していく能力
- ・ 保健師としての役割をさらに発揮できるよう以下の能力を強化する
 - d. 対象者個別の問題を地域社会（集団）の課題として捉え直し、予防的に介入し、支援する能力
 - e. 不足する資源を創出し、関係機関の調整及び対象者の組織化を図り、それらを育成する能力
 - f. 少子高齢化を踏まえ、新たな健康課題に取り組み、解決に向けて対応策を企画し、講じる能力
 - g. 今後の医療・介護提供体制を踏まえた地域包括ケアシステム等の構築に向けて施策化する能力
 - h. 大規模災害等の健康危機への予防策を講じ、発生時及び発生後に適切に対応する健康危機管理能力

1. 検討事項

(1) 卒業時の到達目標

(2) 教育内容

- ① 充実すべき教育内容及び留意すべき点
- ② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

(3) 教育方法

- ① 講義・演習において工夫すべき点
- ② 実習において留意すべき点

(4) 教育体制・教育環境

- ① 教員
- ② 実習指導者
- ③ 教育環境

※検討会第5回以降にご議論いただき、ワーキンググループでの検討における留意事項を整理

2. 検討上の留意事項

※ 見直しの方向性は、以下のとおりとする。

基本的には、保健師助産師看護師学校養成所指定規則上の教育内容の枠組み（“〇〇学”等）を維持して見直しを行っていく。

（１）卒業時の到達目標について

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

※ 教育実態を踏まえた目標の設定を検討する。

（２）教育内容について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

① 充実すべき教育内容及び留意すべき点

【公衆衛生看護学】

- a. 健康危機管理能力を強化する必要性
- b. 「職業生活集団」及び「学校生活集団」の健康を守るための実践力を強化する必要性
- c. データ等のエビデンスに基づき、施策化に向けた能力を強化する必要性

【疫学・保健統計学】

- a. 対象集団の生活や健康等に関する情報を多角的・継続的に捉えて分析する能力を強化する必要性

【保健医療福祉行政論】

- a. 社会資源のシステム化や施策化を図る能力を強化する教育内容の検討

② 整理すべき教育内容及び留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

(3) 教育方法について

※ 教育内容と教育方法とを併せて検討する。

※ 教育効果の評価の重要性を念頭に置いて検討する。

① 講義・演習において工夫すべき点

- a. アクティブラーニング等の教育方法の活用
- b. ICT の活用
- c. 健康危機管理等、学ぶ内容の特性に合わせたシミュレーション教育の活用
- d. 対象者の多様性や健康課題の複雑性に対応できるような講義と演習の連動
- e. 疫学・保健統計学で学んだ知識を公衆衛生看護学等の教育内容と統合させた教授方法の検討
- f. 実習を踏まえて、地域の健康課題の把握から実践の展開及び施策化という一連が理解できるような演習の検討

② 実習において留意すべき点

※ 免許取得前に習得すべきもの及び到達すべき水準を十分に吟味し検討する。

- a. 個々の事例と地域全体のデータの分析に基づく地域診断を踏まえた保健活動に学生が主体的に参加できる実習の検討
- b. 健康危機管理等、学ぶ内容の特性に合わせた演習と実習の連動
- c. 訪問を含めた継続的な保健指導を実施できる公衆衛生看護学実習の検討
- d. 住民の主体的な活動等の様々な場面を活用した実習の展開
- e. 「職業生活集団」及び「学校生活集団」に対する保健活動の実践力を強化するための実習の検討

(4) 教育体制・教育環境について

① 教員

② 実習指導者

③ 教育環境